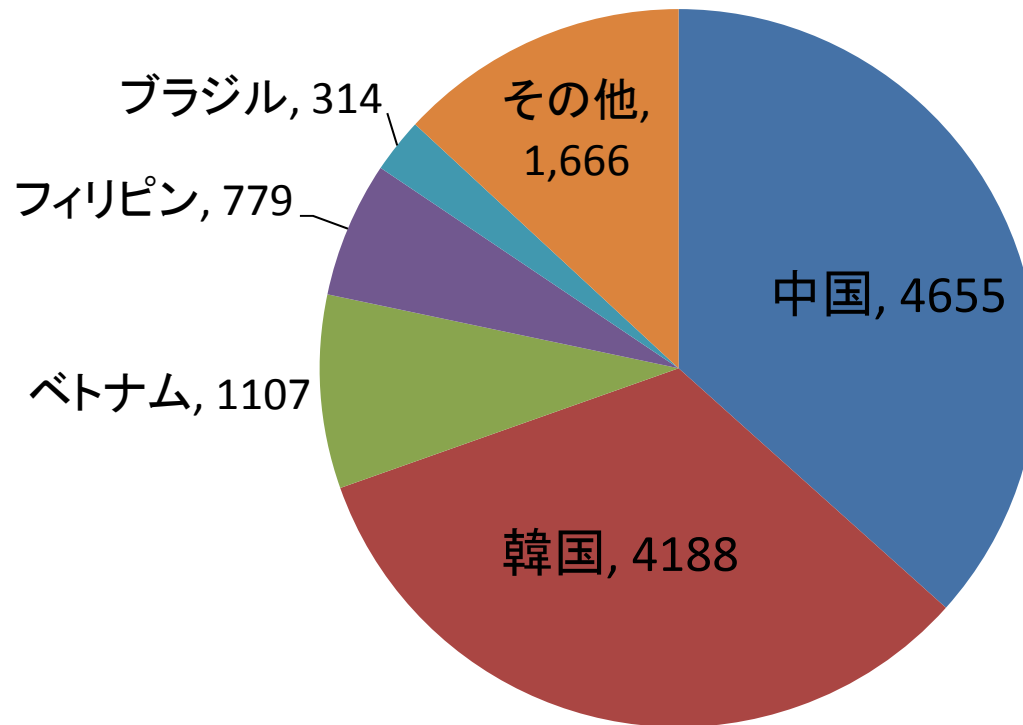


堺市における 日本語指導ボランティア人材の育成

堺市文化観光局国際部国際課
瀬川万有美

大阪府堺市

- 人口：838,268人(2016年8月1日現在)
- 外国人人口：12,709人(2016年7月末現在)
- 外国人住民比率：1.5%



国籍別外国人数

堺市の多文化共生 ～堺市立国際交流プラザ～

■2010年7月1日に市直営で設置

【目的】

市民の国際交流、国際協力及び多文化共生のまちづくりを推進する。

【事業概要】

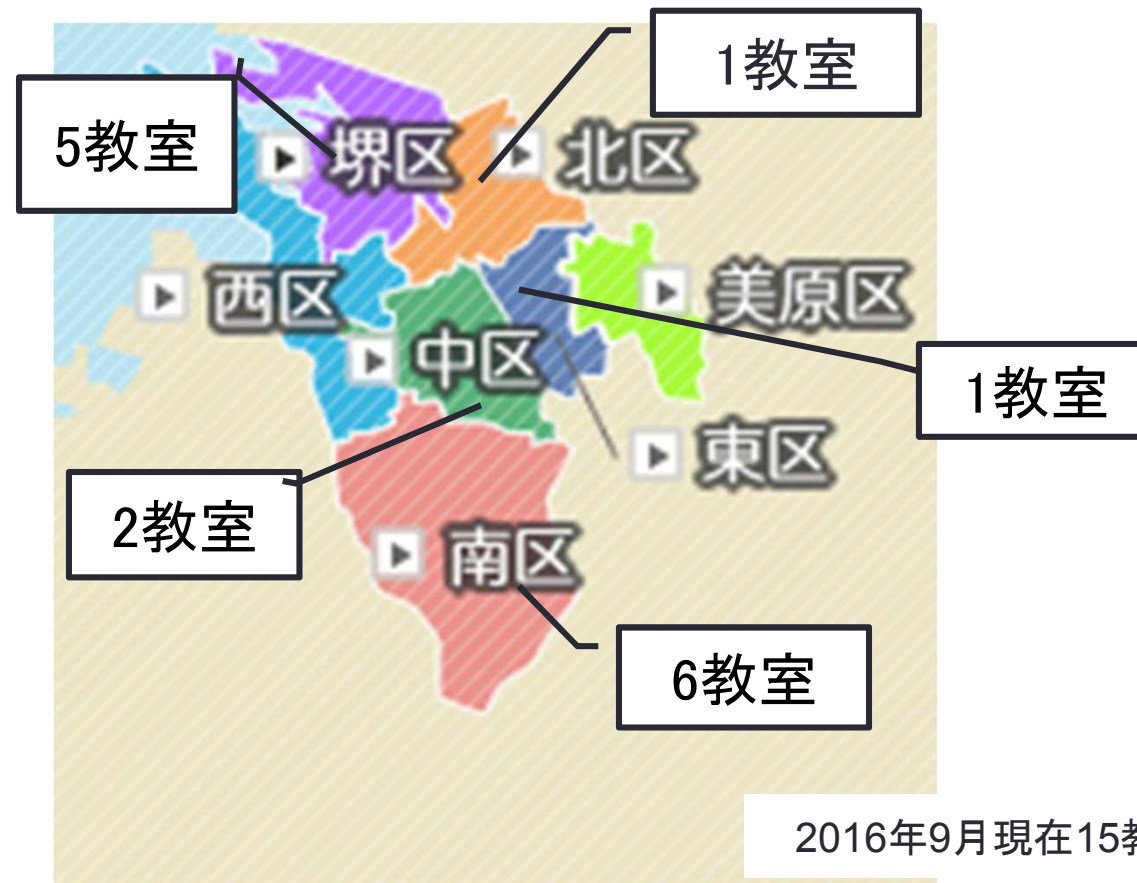
- 海外姉妹友好都市との交流の推進
- 多文化共生の推進

外国人のための生活相談 / 行政書士による帰化・入管無料相談 /
ボランティア通訳の派遣 / 民間非営利団体による日本語教室開催事業
補助金交付 / 各種研修の実施 / 入門レベルのための日本語教室実施

在住外国人への日本語学習支援

■1990年代～

民間非営利団体がボランティアで日本語教室を開催



在住外国人への日本語学習支援

■ 2006年～

市として地域日本語教室の側面的支援を開始

- 2006年～
民間非営利団体による日本語教室開催事業に補助金を交付(公募型)
- 2008年～
「日本語指導ボランティア研修」開催
- 2013年～
「入門レベルのための日本語教室」開催

人材育成

研修とアシスタント活動による二本立ての人材育成

I 日本語指導ボランティア研修

II 「入門レベルのための日本語教室」アシスタント



人材育成 I 日本語指導ボランティア研修

★市内日本語指導ボランティア活動者の裾野を広げるとともに、現在活動中の日本語指導ボランティアのスキル向上を図ることを目的に実施

■日本語指導ボランティア研修(入門編)

対 象: ①日本語指導ボランティアに関心のある方
②市内日本語教室での活動が原則1年未満の方

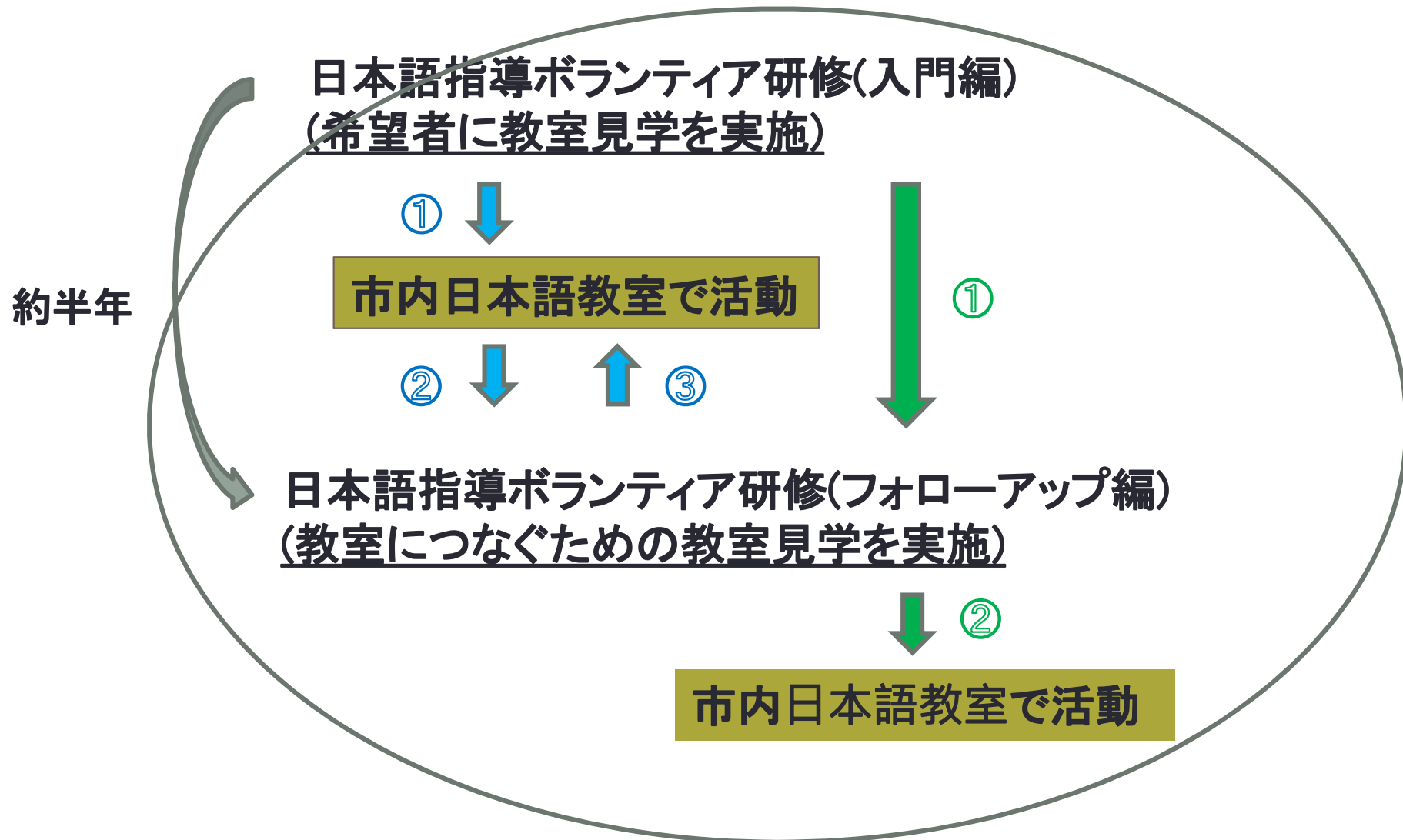
研修時間: 2時間×6回

■日本語指導ボランティア研修(フォローアップ編)

対 象: ①「[日本語指導ボランティア研修\(入門編\)](#)」受講経験者のうち、日本語指導ボランティア未経験または1年未満の活動歴の方
②市内日本語教室等で活動中か活動予定で日本語指導ボランティア経験が1年未満の方。

研修時間: 2時間×6回

人材育成 I 日本語指導ボランティア研修



人材育成 I

日本語指導ボランティア研修～入門編～

1. 日本語指導ボランティアって何？～在住外国人の現状と日本語指導ボランティアの役割～



日本語指導ボランティア・日本語教室の役割

2. 日本語ってどんな言葉？～当たり前に使っている日本語を外国語として見てみよう～

3. 初級の日本語文法ってどんなもの？（その1）～日本語の形容詞～

4. 形容詞を使った活動

5. 初級の日本語文法ってどんなもの？（その2）～日本語の助詞と動詞～

6. 動詞を使った活動

基礎的な文法知識

人材育成 I

日本語指導ボランティア研修～フォローアップ編～

1. 市内日本語学習支援の状況&初級レベルの人と話すコツ！



「やさしい日本語」の活用

2. 「今日は、あまり暑いじゃありません」と言われたら？～「形容詞」の基礎知識と形容詞文の練習の仕方～

3. 「学校をいきます」と言ってもいいですか？-動詞文型の教え方～練習の仕方①～

4. 「～たことがありますか」を使うのはどんな時？～動詞文型の教え方・練習の仕方②～

5. 初級を終えた学習者との活動～話す力をもっと伸ばすには～

6. 活動に向けて

基礎的な文法知識

入門編研修の復習をしつつ、実践に近づけた内容で授業を行う。



「対話型活動」の方法



教室見学で感じたこと、教室活動で感じていること、活動に対する疑問などを共有。

人材育成 I

日本語指導ボランティア研修で伝えていること

【資質】

- ・ 異文化を柔軟に受け入れる力
- ・ 相手の視点や立場に立って考える姿勢

【知識】

- ・ 日本語を外国語として見てみること
⇒日本語はどんな言葉か、また、外国人にとっての日本語の難しさなど
- ・ 日本語文法の基礎的な知識
⇒形容詞の種類や動詞のグループ、また活用など、一般的な日本語の教科書を見ることができるぐらいの知識

【能力】

- ・ 日本語がまだ十分でない外国人とうまくコミュニケーションをする方法
⇒傾聴、やさしい日本語や非言語コミュニケーションの活用、双方向のやり取り
- ・ 日本語学習を交流活動につなげていく方法
⇒「文型やテキストの内容を教えた」ではなく、それらを学習者が日常生活で使える日本語の習得につなげる力、また、それらを学習者との交流活動につなげる力

人材育成Ⅱ

「入門レベルのための日本語教室」アシスタント

【目的】

市内の日本語教室で活動するボランティアに「入門レベルのための日本語教室」の授業に参加する機会を提供し、参加の過程で得たものを教室に持ち帰ってもらう。

【対象】

1年以上の日本語指導ボランティア経験を持ち、アシスタントとしての活動を所属教室で生かす意思のある方

【内容】

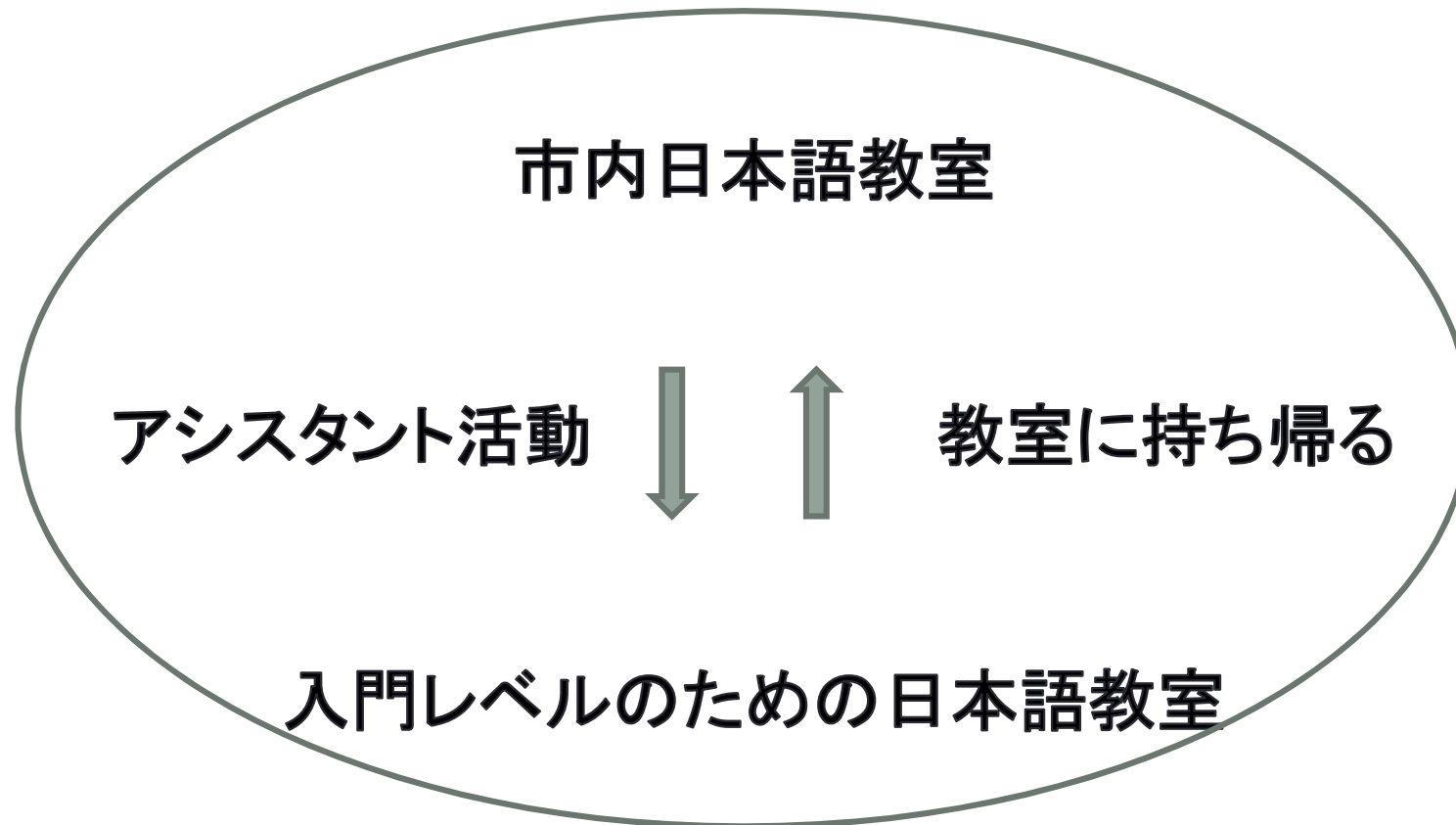
入門期の学習者を対象とした日本語教室でアシスタントとして学習者の練習相手や練習の補助をする。

【研修時間】

事前研修2時間×2回と「入門レベルのための日本語教室」アシスタント4～5回

人材育成Ⅱ

「入門レベルのための日本語教室」アシスタント



人材育成Ⅱ

「入門レベルのための日本語教室」アシスタント

「入門レベルのための日本語教室」授業内容（抜粋）

火曜日（教室型レッスン） 『つながる日本語』	金曜日（グループ型レッスン） 「場面会話」	トピック会話
はじめまして	今日は休みます	私はこんな人
目玉焼きが好きです	京都までいくらですか	私の好きなもの
毎朝6時半に起きます	再配達をお願いします	私の1日

講師がテキストの内容を導入・練習。アシスタントは、学習者の練習相手や補助。

ロールモデルを演じたり、学習者の練習相手になる。

講師の決めたテーマに沿ってグループでおしゃべり

人材育成Ⅱ

「入門レベルのための日本語教室」アシスタント活動で得てほしいこと

【能力】

- 日本語がまだ十分でない外国人とうまくコミュニケーションする力
⇒ 傾聴、やさしい日本語や非言語コミュニケーションの活用、双方向のやり取り。
- 日本語学習を交流活動につなげていく力
⇒ 「文型やテキストの内容を教えた」ではなく、それらを学習者が日常生活で使える日本語の習得につなげる力、また、それらを学習者との交流活動につなげる力

【その他】

- 横のつながり、プロの日本語教師とのつながり、行政とのつながりの構築

人材育成まとめ

～研修等で得てほしいこと～

日本語指導ボランティア研修

- 日本語教室や日本語指導ボランティアの役割
- 日本語文法の基礎知識

「入門レベルのための日本語教室」 アシスタント

- 日本語がまだ十分でない外国人とのコミュニケーション能力
- 交流型活動の方法
- つながりの構築

最後に～堺市の形～

